

## コミュニティ・スクールの在り方を考える「熟議」

○文部科学省では、コミュニティ・スクールのこれまでの成果と課題、今後の在り方について考えるため、平成 22 年度、コミュニティ・スクールを推進している教育委員会の教育長等による「熟議」を実施しました。

### 第 1 回熟議の結果概要

※平成 22 年 10 月 12 日(火)開催 32 教育委員会が参加

#### 課 題

- ①学校運営や人事に関する意見を述べて学校運営へ参画する役割の発揮
- ②学校運営協議会における経費確保等、活動基盤の整備
- ③企業や大学との連携、幼稚園から高等学校までの校種間連携を踏まえた学校運営協議会の在り方の検討
- ④学校運営協議会の運営事務や、地域住民とのコミュニケーションなど、コミュニティ・スクールに係る業務等により生じる教員の負担感の軽減

#### 解 決 策

- ①「熟議」の活用や、学識経験者等の協力を得て、学校運営協議会での議論を深めること、学校運営協議会委員の資質向上を図ること、教育活動を充実のため、教員評価や学校評価との関連を図ることなど。
- ②首長部局と総合的な取組を推進すること、コミュニティ・スクールの運営事務担当の教員の加配措置を行うこと、市町村独自にコーディネーターを雇用することなど。
- ③中学校区で 1 つの学校運営協議会の取組など多様な方法の検討、学校と地域が連携した取組への学校予算の配当、「熟議」の活用等による関係者の当事者意識の醸成など。
- ④教員のコミュニケーション能力を高め、地域住民等と円滑に連携すること、成功例(効果的な事例)の普及啓発等、教員公募の活用、学校運営協議会をコーディネートする人材と予算の確保など。

### 第 2 回熟議の結果概要

※平成 23 年 2 月 18 日(金) 53 教育委員会が参加

#### 課 題

- ①熟議の進め方と在り方、委員構成の工夫、協議会委員以外の地域意見の反映、学校評価の活用など、学校運営協議会の実質化を図るための取組
- ②当事者の拡充(若い世代を含む地域住民の参画、大人の生涯学習の場)、地域特性に応じた工夫など、地域住民との協働・参画を増やすための取組
- ③コーディネーターの雇用など活動経費の確保、効果的な成功例の共有化、教員の負担感の軽減など、幅広く継続的な支援の確保のための取組
- ④関係部局間の連携による学校を核とした地域の活性化、町内会、企業、大学、他の校種との連携の在り方等、関係機関の連携拡充を図るための取組

#### 解 決 策

- ①地域住民に対するコミュニティ・スクールの意義の発信、委員の公募制導入、学校運営協議会の活動場所の確保や評価の実施、分かりやすい成功事例集の作成や事例研修会の実施による委員の資質向上など。
- ②地域と学校の共有ビジョンの策定、学校の意識改革、学校や子どもについての情報発信、関係団体や首長部局と協働して幅広い世代の参画を促すことなど。
- ③自治体の経営戦略や教育振興計画への位置付け、地域総合型スポーツクラブや NPO との連携による予算の確保など。
- ④フォーラム等の開催による関係者の意識向上、PTA や首長部局、企業等の関係者との協働によるプロジェクトの実施、青年会議所や商工会議所の若手の参画拡大など。

○「熟議」の結果を踏まえ、平成 23 年度の制度普及説明会、研究委託事業、推進協議会、学校運営協議会委員研究協議会等を実施し、コミュニティ・スクールについて普及・啓発

○「熟議」を契機に発足した「全国コミュニティ・スクール連絡協議会」とも連携して、好事例等を情報発信